

1 学校経営の方針

めざす学校の姿

- ・一人一人を尊重し、個性や可能性を伸ばす学校
- ・誰にも心の居場所があり、明るく楽しい学校
- ・家庭・地域と子供の成長のために連携する開かれた学校
- ・整理された、安全な学校

学校教育目標

心豊かで
自ら考え
伸びようとする子ども

挨拶と温かい言葉があふれる学校

めざす教師の姿

- ・子供に寄り添い、理解して、子供に信頼される教師
- ・愛情と探求心をもち、子供とともに成長する教師
- ・協働して、積極的に学校経営に参加する教師

- 2 児童の実態
- ・明るく子供らしい。多くの児童は友達と助け合い決まりを守って行動していると自己評価している。
 - ・保護者や教職員からは、自分の考えをもち、意思をもって行動する部分に弱さを感じている。
 - ・相手意識をもった言動について指導してきたが、更なる意識の改善が必要
 - ・研究指定校（算数）を受け教師が授業の有り方の変化が生まれ、自ら解決したり自分の意見を伝え友達の意見を受け入れ比較したりしながら、主体的に学習に取り組む姿勢が見えてきた。

3 今年度の経営の重点（相手意識をもち、挨拶と温かい言葉があふれる学校 いじめを未然に防ぐ学校）

- 児童理解に努め、児童相互や児童と担任の信頼関係を大切に、所属感と人権を大切にする学級経営
- 基礎・基本の定着と、考えをもつ為の思考する場と児童同士が意見を交換する、児童主体の授業
- いじめの未然防止と早期対応を合言葉にした生徒指導と児童の困り感に寄り添う教育相談や、特別な支援への配慮
- 教職員がそれぞれの役割で主体的に分掌を遂行し、互いに支え合い全教職員で学校運営する「チーム平山」

めざす子供の姿

「よく考える子」の育成 (知)

(1) 児童主体の授業

研究を通した、授業スタイルの確立

- 思考を共有し、高め合う児童主体の学びを日常的に育む
- ・思いや考えをもつ発問や時間の確保
- ・児童主体の話合いから、結論に結びつく学習改善（学級経営との連動）
- ・「聞く」姿勢を大切にする指導
- 付けたい力、本時のねらいの明確化
- ・児童と目標を共有した授業展開
- ・問題解決的な学習活動の工夫
- ・振り返り活動の重視（自分の変容に気付く指導の工夫）
- ・知的好奇心の喚起
- ・個に応じた支援の充実
- ・毎朝10分間の帯時間の活用
- ・主体的な学びにつながる学習活動の工夫。

(2) 体験活動の充実

- ・本物から学ぶ感動がエネルギー
- ・計画的な外部人材の活用
- ・タブレットの長所を生かした、学習内での活用方法の創造と実践（不登校児童の教育の機会確保）
- ・地域に根差した体験活動を通した、地域と人を大切にする心の育成

「相手意識をもち、思いやりがある子」の育成

(1) 学級経営が基盤

- 教師と子供の信頼関係構築
- ・子供の心や特性を理解し、ほめ、励まし自己肯定感・有用感を高める
- ・愛情に裏打ちされた厳しさも持つ
- ・教師が児童への人権意識を高く持つ

○子供同士の好ましい人間関係確立

- ・互いを思いやり、良さを認め合う
- ・特別支援学級との交流活動の充実させ、互いを認め合う協同的な学びを推進する

- ・不登校気味な児童との関係構築と支援

(2) 特別活動の充実（児童会活動の推進）

- 全校児童で作上げる平山小
- ・児童が主体的に学校をよくしようと思考し自己実現する児童会活動

○憧れられる高学年

- ・高学年の学校に貢献している内容の見える化（児童会・代表委員会）

(3) 規範意識の育成

- ・相手意識を大切に言動と、責任ある行動がとれるよう支援する。
- ・挨拶・返事・言葉遣い
- ・時間を守る・黙働掃除

(3) 多様な人とのかかわり合い

- ・たてわり活動、幼保小・小中連携
- ・聾学校や地域の方との交流

(4) 道徳教育の充実

- ・道徳科を要に教育活動全体で推進
- ・考え、葛藤する授業への工夫改善

「健康や安全に気を付ける子」の育成 (体)

(1) 危険予知能力の育成

○安全教育の充実

- ・場面ごとの安全指導の確立
- ・保護者・地域との連携
- 自分の命は、自分で守る教育
- ・疾病（特に感染症）の予防
- ・交通事故や校内事故の未然防止

○避難行動の徹底

(2) 体育・食育の充実

- ・体力づくりの日常化
- ・運動量を確保した授業
- ・かわわりを大切にしたためあて学習
- ・栄養教職員と連携した食育の推進
- ・養護教諭との連携による保健指導・児童と共に環境を整え、楽しい教室、学ぶ意欲を喚起する環境づくり

(3) 衛生的な学校づくり

清掃の目的を大切に、学校がきれいになることに喜びを感じる児童

☆チーム平山小で

- ・気持ち良く活動できる、明るい雰囲気・風通しの良い職場づくり
- ・報告・連絡・相談・報告の徹底
- ・教科主任や校務分掌担当者が専門性を生かした学校運営への参画

☆家庭との連携

- ・子供との信頼関係をもとに、保護者との関係を築いていく

☆地域との連携

- ・平山小の子は、地域で育てる